

C：審査会の意見

「協働事業報告書」、「決算報告書」、「A：自己評価シート」、「B：相互評価シート」、および、「報告会の内容」をもとに、ご記入ください。

事業名	外国籍市民支援放送事業		
事業開始年度	平成 25 年～	提案型	☐ 市民提案型協働事業 ☒ 行政提案型協働事業
団体名	多文化共生ひらつか情報局	担当課名	文化・交流課

(1) 良かった点（さらに伸ばして欲しい点）

- ※ 単独より協働でのメリットや、先駆性など事業の良い点・他事業も参考にして欲しい点など
- ・3年間のこの事業に対する団体、担当課双方の協働の姿勢を高く評価しています。特に団体は組織力が高まり、事業遂行力が格段に増したと思います。
 - ・災害時緊急対応マニュアルの作成は、外国籍市民に更に安心を提供できました。作成時には担当課だけではなく湘南ナパサや防災担当部署などと様々な協働で進められたことを評価します。
 - ・放送済みのテーマを見ると多様なニーズに沿った内容で構成されており、外国籍市民にとって益々必要とされる事業になっていると思います。
 - ・FM 湘南ナパサでの防災インフォメーションの番組を持つなど、努力が形になりこれからの広がり期待できるようになりました。
 - ・情報をタイムリーに発信でき、外国籍市民への的確な情報提供が出来ていると思います。
 - ・警察や市との連携により防犯、防災、税金など幅広い生活情報を提供して外国籍市民の安心・安全に非常に寄与していると感じます。
 - ・行政だけでは難しい分野だと思うのでこれからも是非続けていって欲しいです。

(2) 課題の改善や今後への助言など

- ※ 改善して欲しい点や今後の事業展開へ向けてのアドバイスなど
- ・今後の課題「自主財源の確保」は重要なポイントです。賛助会員や寄付金募集だけでなく収益事業を行える団体に成長して欲しいと思います。
 - ・賛助会員の拡大など積極的に活動をされていますが、協働事業終了後、独自に活動できる自主財源を確保する方策（寄附など）を検討してください。
 - ・より多くの人に知ってもらうために、どのようにアプローチしていけばいいのかをしっかりと考えていろんな形で引き続き挑戦してってください。
 - ・子どもの貧困対策など弱者対策の情報提供の充実をお願いしたい。
 - ・ラジオだけではなく SCN などと連携してテレビでの情報提供も行っていきたい。

C：審査会の意見

「協働事業報告書」、「決算報告書」、「A：自己評価シート」、「B：相互評価シート」、および、「報告会の内容」をもとに、ご記入ください。

事業名	食品の放射性物質簡易検査		
事業開始年度	平成 25 年～	提案型	☐ 市民提案型協働事業 ☒ 行政提案型協働事業
団体名	NPO 法人 ひらつかエネルギーカフェ	担当課名	市民情報・相談課

(1) 良かった点（さらに伸ばして欲しい点）

- ※ 単独より協働でのメリットや、先駆性など事業の良い点・他事業も参考にして欲しい点など
- ・団体の専門性が生かされ市民に安心を与えられたと思います。事業の広報活動についても双方が協働して取り組まれたことが成果に繋がっていると思います。
 - ・団体と行政がお互いの持つ利点を活かした協働事業でした。それぞれが協働の視点を確認しながら事業を進め、役割分担を明確にすることで市民がより信頼して活用できたと思います。
 - ・イベントを通じてより多くの人に PR することができ、大磯町との広域連携が進んだことによって、検査数も増えて食の安心を伝えることができたと思います。
 - ・食品に対して不安を持っていた市民の安心満足が図られたと思います。
 - ・協働による講演会や子ども教室などイベントも積極的におこなったことを評価します。
 - ・大磯町とも連携して検査が行われ広域連携が進んだことを評価します。

(2) 課題の改善や今後への助言など

- ※ 改善して欲しい点や今後の事業展開へ向けてのアドバイスなど
- ・藤沢から測定器が団体へ移転したと伺いました。今後は団体の自主事業としての取組みになると思うが、行政との連携協力関係は続けていって欲しいと思います。
 - ・市民の持込み件数としては減少傾向となっています。しかし、放射性物質への不安を持つ市民のために、協働事業としては終了するが自主事業として是非継続していただきたい。
 - ・今後どのような形で事業を広げていくのか、しっかりと方向性を持って取り組んで頂きたい。
 - ・市民への放射能に関する関心を風化させないよう広報活動の充実をさらに図って欲しい。
 - ・市民農園関係者への周知が必要であれば農水産課との連携を進めてはどうでしょうか。

C：審査会の意見

「協働事業報告書」、「決算報告書」、「A：自己評価シート」、「B：相互評価シート」、および、「報告会の内容」をもとに、ご記入ください。

事業名	感覚統合療法普及事業		
事業開始年度	平成 26 年～	提案型	☐ 市民提案型協働事業 ☒ 行政提案型協働事業
団体名	ひろげよう子育て支援の会	担当課名	こども家庭課

(1) 良かった点（さらに伸ばして欲しい点）

- ※ 単独より協働でのメリットや、先駆性など事業の良い点・他事業も参考にして欲しい点など
- ・遊具を使った「感覚統合療法の普及」という目的はある程度達成されたと思います。この事業の良いところは双方の役割分担が明確で意見交換が密にされているという点です。今後もこの良好な関係を維持して行ってほしいと思います。
 - ・発達に課題を持つ子どもやその保護者にとって本当に必要な事業です。団体と行政がそれぞれの利点を活かしながら役割分担をし、感覚統合療法の普及に努められたことは、まさに協働ならではの事業の実施であったと思います。
 - ・市が所有する資源を活用してより多くのことを伝えることができます。
 - ・発達支援の新たな取組みで症状の改善のみならず保護者の支援にも繋がっています。
 - ・市民ニーズも高く、行政と団体の役割分担が明確なので市民が利用しやすいと感じる。

(2) 課題の改善や今後への助言など

- ※ 改善して欲しい点や今後の事業展開へ向けてのアドバイスなど
- ・普及事業は継続することが重要なのでこの経験を生かして一般市民にも理解を深めていけるよう広報活動に力をいれて行ってください。
 - ・支援事業所のみならず、幼稚園、保育所と連携を更に深めていただき、勉強会や遊ぼう会などへの参加を促し、発達障がいについての知識を広めることで子どもたちによりよいサポートができる体制づくりを更に進めて頂きたいと思います。
 - ・今後どのような形で事業をPRしていけばいいのかしっかり軸を持って取り組んでいただきたい。
 - ・感覚統合療法の考え方を幼児期から就学期まで共有できるようにしてください。
 - ・参加件数などもさらに拡大できるように工夫していくべき事業だと思います。
 - ・提案型協働事業は終了するが、今後も役割分担を明確にし協働できる部分を継続して事業を継続して行って欲しいです。

C：審査会の意見

「協働事業報告書」、「決算報告書」、「A：自己評価シート」、「B：相互評価シート」、および、「報告会の内容」をもとに、ご記入ください。

事業名	平塚市立小・中学校運動場、体育館個人開放利用促進事業		
事業開始年度	平成 26 年～	提案型	☒ 市民提案型協働事業 ☐ 行政提案型協働事業
団体名	東海大学地域 スポーツクラブ	担当課名	スポーツ課

(1) 良かった点（さらに伸ばして欲しい点）

- ※ 単独より協働でのメリットや、先駆性など事業の良い点・他事業も参考にして欲しい点など
- ・事業の目的を達成するための最初の一步を踏み出せたのではないかと思います。
 - ・市民が気軽にスポーツを楽しむことができる場を提供し、学生の若い力を活かして今後も発展の期待を出来る事業です。利用者の増加が予想されるが、その対応で学生の皆さんが疲弊しないよう、楽しんで参加できる体制を行政と共に作ってください。
 - ・協働することによってより安心でき、楽しさを伝えることができていると思います。
 - ・学生が行政のサポートにより地域貢献できる本当のチャンスになっていると思います。
 - ・東海大学のスポーツに関する見識が市民に対し生かされていると思います。
 - ・東海大学の学生が地域に結びつき地域貢献できる学生にとっても良い経験を積める事業だと思います。

(2) 課題の改善や今後への助言など

- ※ 改善して欲しい点や今後の事業展開へ向けてのアドバイスなど
- ・この事業の成果目標をどこにおくかを団体・行政双方で再度検討していただくと共に、今後この成果をどのように生かしたら発展的な取組みになるのかを考えながら最終年度を迎えてください。期待しています。
 - ・持続できる事業にするために自主財源を確保してください。地域コミュニティーを巻き込んだ運営を検討されてはどうでしょうか。学生と地域住民が連携することで新たな展開が期待できるかもしれません。
 - ・学生らしさをもっとだして多くの人にスポーツの楽しさを伝えてもらいたい。
 - ・学生には今の経験が将来必ず活かされていくと思います。PR、場所の確保、ルール決めなどしっかり検討し多くの人がスポーツを楽しめる機会を作っていくてください。
 - ・市との大学交流事業も視野にいて、市民の健康づくりのためのさらに幅広く充実して欲しいです。
 - ・特定の団体に所属しなくても遊び感覚でスポーツを楽しめることができるのでPR次第でさらに利用が増えると思います。
 - ・さらに学校との連携を進め会場を増やしていくってください。
 - ・29年度から、市民大学交流事業などへの位置づけなども視野に検討していただき事業を継続して欲しいです。

C：審査会の意見

「協働事業報告書」、「決算報告書」、「A：自己評価シート」、「B：相互評価シート」、および、「報告会の内容」をもとに、ご記入ください。

事業名	市内スポーツ情報ポータルサイトの構築・運営事業		
事業開始年度	平成 26 年～	提案型	☒ 市民提案型協働事業 ☐ 行政提案型協働事業
団体名	認定 NPO 法人 湘南ふじさわシニアネット	担当課名	スポーツ課

(1) 良かった点（さらに伸ばして欲しい点）

- ※ 単独より協働でのメリットや、先駆性など事業の良い点・他事業も参考にして欲しい点など
- ・年間 1,000 件の記事投稿、1.5 万ビューを超える訪問者の参照実績など、参加型のポータルサイトが実践されていて素晴らしいと思いました。最終年度も期待しています。
 - ・市民が気軽にスポーツ情報を得ることができるポータルサイトが構築され、公益性が高い事業であると評価します。団体の持つノウハウを最大限に活かして進められていると思います。
 - ・サイトの安心感を伝えることができていると思います。
 - ・市のスポーツ関連の情報が一元的に集約される点が良いと思います。
 - ・団体の皆さんが楽しんで事業の充実を進めているのが良いと思います。
 - ・地域の情報もわかりやすく検索できるので利用者も身近に感じることができます。

(2) 課題の改善や今後への助言など

- ※ 改善して欲しい点や今後の事業展開へ向けてのアドバイスなど
- ・報告会では今後の課題がいくつかあげられていました。特にフェイスブックやツイッターなどとの連動性は若い人たちの参加を促すきっかけになるので是非進めてください。
 - ・サイトの機能開発のために努力されていると推察しますが、これからもアクセス数を更に増やすためにもより検索しやすいサイトにしてください。
 - ・平塚らしさを出してより多くの人に利用してもらえる仕組みをしっかりと作っていただきたい。
 - ・オリンピックに向けて頑張る平塚のアスリートを取り上げるなど変化をつけて取り組んでもらいたい。参加型のサイトに変化するともっと広がっていくと思います。
 - ・市のスポーツの総合的な担い手であるまちづくり財団との協働事業にしてはどうでしょうか。
 - ・スポーツ情報だけではなくさらに市民の健康に結びつくようなサイトの検討をお願いします。
 - ・行政側の情報、たとえば、高齢福祉の介護予防情報などさらに連携してより広い情報提供をする必要があると思います。
 - ・健康寿命の視点など平成29年度以降の事業のあり方も今から検討していただきたいです。